

第四回 神楽祭

古事記や日本書紀などの古記録にある「神代」の伝承を「神話」と呼ぶようになったのは、明治時代以後のことです。全国各地には神代から伝わっている古伝承や逸話がたくさんありますが、淡路島を舞台とする「国生み神話」、高千穂への天尊降臨を伝える「日向神話」、素盞鳴尊の八岐大蛇退治などの「出雲神話」はその中核にあたる三大神話といえます。

国生み伝承の淡路島が誇る最古の神社「伊弉諾神宮」に、高千穂神社と出雲大社から神楽を招いて競演奉納する「神々のふるさと」三大神話「神楽祭」も第四回目を迎えることができました。



鎮魂から創生へ
国生み神楽の初演

古事記編纂 1300年 第四回 神々

三大神話

神楽祭

かぐらまつり

http://izanagi-jingu.jp

主催：くにおみ神話のまちづくり実行委員会 後援：兵庫県淡路市、淡路市、淡路市教育委員会、淡路市農工

日程：9月28日(土)16時00分開場 16時30分開演

場所：伊弉諾神宮特設舞台(雨天時は担籠にて)

出雲 淡路 高千穂



出雲神樂

大土地神樂 淡路島 伊弉諾神宮 神樂祭 2017.9.23.

出雲大社

いづもたいしゃ



鎮魂から創生へ
国生み神樂の初舞台。

天國のふもと 淡路島
古事記編纂 1300年 第四回 神々のふるさと

三大神話

神樂祭

出雲

淡路

高千穂 かぐらまつり

日程 9月23日(日) 16時00分開場 16時30分開演
場所 伊弉諾宮神樂舞台(雨天時は拝殿にて)

<http://izanagi-jingu.jp>

主催 くにのみ神話のまちづくり実行委員会 後援 兵庫県淡路県民局、淡路市、淡路市教育委員会、淡路市商工会



淡路島 伊弉諾神宮 神樂祭 2017.9.23.



鎮魂から創生へ
国生み神楽の初舞台。

大輪のさと 夫が淡路

古事記編纂 1300年 第四回 神々のふるさと

三大神話

出雲

神楽祭

かぐらまつり

http://izanagi-jingu.jp

主催：くにのみ神話のまちづくり実行委員会 後援：兵庫県淡路市民会、淡路市、淡路市教育委員会、淡路市農工会

日程：9月23日(金)16時00分開場 16時30分開演
場所：伊弉諾神宮特設舞台(雨天時は観覧席にて)

淡路島 伊弉諾神宮 神楽祭 2017.9.23.

出雲神楽

スサノウ「大蛇退治」や大国主の「国譲り」伝承など

日本神話の郷 出雲

神話を主題とした神楽舞が数多く伝承されている

大土地神祭 2017.9.23.

淡路島 伊弉諾神宮 神祭祭



出雲神楽とは民間に伝承される神楽の分類名称。前段の採物舞(とりものまい)と後段の神能(しんのう)の二部分より成る神楽の総称。全国的に広く分布するが、出雲地方に典型がみられるのでこの称がある

大土地(おおどち)神楽は、
出雲大社のお膝元・大社町に伝承されている出雲神楽。

出雲大社

いづもたいしゃ

現在では同保存会神楽方によって10月下旬の大土地荒神社例大祭時を中心に、出雲大社や近郷諸社の祭礼において神楽奉納が行われています。

その構成は、基本的には出雲神楽の形式に則り、「七座(しちざ)」と総称される七番の神事的な舞から始まります。そして後段では神が降臨したとして、「荒神(こうじん・国譲り)」や「野見宿禰(のみのすくね)」「八千矛」などの神話劇“神能”が演じられます。

(神能 大土地神楽12座ともいわれる)



大土地(おおどち)神楽は、
出雲大社のお膝元・大社町に
伝承されている出雲神楽。

その構成は、基本的には出
雲神楽の形式に則り、
「七座(しちざ)」と総称される
七番の神事的な舞から始まり
ます。

そして後段では 神が降臨し
たとして、「荒神(こうじん・国
譲り)」や「野見宿禰(のみの
すくね)」「八千矛」などの神話
劇“神能”が演じられます。

(神能 大土地神楽12座
ともいわれる)

淡路島 伊弉諾神宮 神樂祭 2017.9.23.

大土地神樂 「八千矛」



大土地神樂

出雲 大土地神楽 「八千矛」



淡路島 伊弉諾神宮 神楽祭で 2011.9.23.夕

出雲 大土地神楽「八千矛」 あらすじ

この神楽は、大国主大神が、出雲の国を平和にするため活躍された若いころの物語です。その時の名前を八千矛神と言います。

出雲大社

いづもたいしゃ

まだ、出雲の国が平和でなく、戦争を繰り返している頃、悪事を働いていたのが、八千矛神の兄神である八十神とその子分達(子鬼)でした。

そこで、この兄神達をこらしめ、人々が安心して暮らせるようにと、八千矛神は弓矢や刀を持って戦われ、ついに八十神は降参して、出雲の国が平和になるまでを描いたものです。



国の悪者退治に出向く八千矛の一人舞から 神楽舞が始まりました



悪者を探す 八千矛の一人舞 (部分)



八千矛は、悪者の兄神「八十神」の子分の子鬼と戦い、
これを追い出します

八千矛 & 子鬼 戦いの舞



八千矛と子鬼の戦い (部分)

52s



八千矛は 次に、親玉の兄神「八十神」と戦い、これを打ち負かします。

八千矛 & 八十神 戦いの舞



八千矛 & 八十神 戦いの舞 (部分) 52S



悪者がいなくなり、出雲はおだやかな国になり、八千矛が舞う

八千矛の舞



八千矛の舞 (部分)

出雲大社

いずもたいしゃ





大土地神楽について

大土地神楽は、古くから大土地荒神社の神主によって舞われていましたが、寛政二〇年（七九八）の「とうやじゅんばんちよう栲家順番帳」等の記録によると、その頃から氏子達によって舞われていることが確認でき、三百年以上途絶えることなく受け継がれています。

その舞い振りや奏楽は、毎年二〇月の荒神社例祭で、昔ながらの形で受け継がれ現在に至っており、石見神楽や他の出雲神楽には見られない素朴な特徴があり、囃子についても独特です。また能舞の要素が多分に含まれた舞いも残っており、腰に「まくら」を背負った上に衣装を着けるといった、独特な容姿となっています。昭和六〇年四月「島根県無形民俗文化財」に、平成十七年二月には国の「重要無形民俗文化財」に指定されております。

現在の活動としては、大土地荒神社例祭はもとより、出雲大社例祭への奉納神楽、県内外での公演もしています。近年では平成四年にアメリカ・ポートルランドやエリンスバーグ、平成五年には、フランスの「パリ日本文化祭」やイギリス・ロンドンでの公演といった好機に恵まれ、国外でも神楽を披露することが出来ました。また、稲佐の浜夕刻篝火舞等、他の神楽団体と企画したイベント開催もしています。



出雲大社





淡路島 伊弉諾神宮 神祭祭 2017.9.23.



淡路島 伊弉諾神宮 神楽祭 2011.9.23.

出雲大社

いづもたいしゃ

